

2021年2月臨時運営委員会資料（6）

新規会員の勧誘について

2021年2月28日

会員管理担当 高橋・永井

会員管理が持つ情報で30年を10年ごとに振り返ると以下の状況が見えてきました。
定年制が60歳から65歳に延伸され、平均寿命も77歳から81歳に伸びる中、現会員の入会時の平均年齢は最初の10年間は56歳、次の10年間は64歳、次の10年間は71歳、今年度だけを見ると75歳と急速に高齢化し、会員平均年齢77歳に近づいています。

原因としては、「定年延長に伴う就労環境の整備」、「年金給付繰下げの優遇措置」、「老後資金2千万問題」などで、健康であれば収益と健康のため、働き続けようとの意識の高まりが考えられます。また、余暇を過ごすための情報がインターネットのおかげで手に入り安くなり、30年前の定年男性の「粗大ごみ」「ぬれ落ち葉」は死語となったようです。

新規会員の勧誘について、アンケートでは以下の意見をいただきました。

- ・特にリタイア前後の人をターゲットとして入会キャンペーンを行う 42%
- ・地域行政が主催する活動の応援イベントに積極的に出店する 69%
- ・地域じゃおを中心に、友人・知人への声掛けを強める 61%
- ・口コミ効果が有効
- ・女性が加入すると口コミで会員が増える
- ・「蕎麦打ち」実施回数を年2回から4回に増やし、参加者に声掛け

-入会キャンペーンの方法について

- ・「タウンニュース」へ広告を掲載する

広告費用を10.2cm×2段で試算すると、対象地域全てに中面掲載した場合は280万円、会員所在地域にのみ中面掲載した場合は190万円が必要となります。

また、地域ごとに発注した場合の費用は、湘南(64万円、45万円)、県央(57万円、45万円)、ベイサイド(89万円、70万円)、多摩田園(70万円、29万円)となります。

高額な費用がかかるため、現実的ではありません。

- ・じゃおクラブの活動をマスコミ(新聞・放送・雑誌)に取り上げてもらう

記事として取り上げてもらうための活動を展開する必要があり、「30周年記念行事」の売り込みをはじめとして、「広報・宣伝」活動を実施する。

- ・SNSを活用し、じゃおクラブの存在、活動を発信する

などが考えられます。

- ・女性参画については会則の改定が必要なため、検討外とします
- ・他の事項は地域ごとの活動に委ねます

以上